

令和7年度

# 地域プロデューサー 実践講座 2025

## プロジェクト一覧

地域づくりプロデューサー実践講座を通して  
受講生たちが企画したプロジェクトや  
踏み出した報告書をご紹介します。

### ふるさと紫尾の地域づくり

地域プロデューサー名

愛甲 洋平さん

対象地域

さつま町

#### 概要

さつま町紫尾の地域づくりを手伝い、応援する  
(困りごとの解決、やってみたいことの実現、農村環境の保全など)

#### 課題

- ・ 道路沿いの景観維持（草刈り・ゴミ拾い）。
- ・ 耕作放棄地の発生抑制。
- ・ 小学校、キャンプ場の利活用。
- ・ ファシリテータースキルによる丁寧な話し合い（対話）促進。
- ・ 地域活動の広報の工夫。
- ・ 小学校周辺の清掃。
- ・ 地域内外の新たな活動力発掘。

#### 理想

- ・ 紫尾で暮らしている皆さんの笑顔や挨拶が末永く続く未来
- ・ 農地が荒れず、道路沿いに花が咲き、ゴミの少ない農村景観が保全されている未来
- ・ 地域のシンボルである小学校が活用されている未来
- ・ 地域内外の活動人口が少しずつ増えていく未来

#### 結果

- ・ やってみて、うまくいかなかったらやり直す（AAR）。  
(Anticipation(見通し)、Action(行動)、Reflection(振り返り))
- ・ 暮らしている方の思い、地域の時間軸を尊重する。
- ・ 楽しむこと（ワクワク感）を忘れない。



first step 公民館長に面会し、紫尾に対する思いを聞いていただいた



next step 紫尾に戻った際、小さなことでよいので実践する（草刈り、ゴミ拾い等）

## こども食堂×ワークショップ

地域プロデューサー名  
地域プロデューサー名

荒川 香菜さん

対象地域

鹿児島県全域

### 概要

こども食堂を訪問し、ワークショップを開催します。  
継続した活動にするため、ワークショップ運営団体「つきとにじ」を立ち上げます。

### 課題

こども食堂・地域食堂は鹿児島県に約220件あり、こどもや高齢者が集う大切な地域の居場所となっています。  
しかし、こども食堂で、こども達に食事以外にコンテンツを提供したいが、人手不足などで、困っている食堂があると聞き、自分にできることはないかと考えました。

### 理想

「みんなが自分の好きなこと得意なことを活かして、一人ひとりが輝く社会」  
目指す社会の実現のために、ワークショップを通して、こども達、運営者さん、地域みなさんに楽しさやワクワクを広げていきたいです。

### 結果

自分の想いを周囲に伝えることの大切さを感じました。  
話をすることで、応援して頂いたり、支援を頂いたりと反応があり、嬉しかったです。  
今後は一緒に活動する仲間を作りたいので、引き続き、周囲に積極的に自分の想いを伝えていきたいです。



first step 自分のやりたいことについて  
周囲に話をすること

next step こども食堂でのワークショップ開催

## 10年後、まほろばの里が動き出す

地域プロデューサー名

大塚 美雪さん

対象地域

霧島市

### 概要

閉園した霧島市牧園町の「まほろばの里」を復活して、県内外から愛される場所を目指します。  
みんなが何度も行きたくなる場所を増やします。

### 課題

生意気ですが良いところがたくさんあるのに、魅力を活かしきれいなと思います。  
若年層が少ないのも課題ですよ？  
県内で何度も行きたいと思える場所、癒しの場所が少ないので一つでも増やして働く場所としても提供できればと思います。  
そして地域の方々と協力して地域の活性にも貢献したいと思っています。

### 理想

霧島市牧園町の若年層減少課題に対して、仕事の間を提供して地域に貢献したいと思っています。  
子供からお年寄りまで楽しめる、学べる、遊べる、休める、癒される、元気になれる場所をつくりたいと思っています。  
様々な方々(県内外観光客、地域の方、アーティスト、パフォーマー等)の交流の場をつくりたいです。

### 結果

ぼんやりとしか見えてなかった景色が、お陰様で講座の回を重ねていくうちにハッキリと見え始めて具体的になっていきました。  
様々な学びの中で地域の方との交流、人脈づくりが1番大事だと感じています。  
すぐに取り組んでいきたいと思っています。

地域プロデューサー名

大塚 美雪さん

対象地域

霧島市



first step 地域づくり  
プロデューサー  
実践講座2025

next step 地域の方々と  
霧島市観光課との  
人脈作り、交流

## JR指宿枕崎線を活用した地域活性化 ～100人の1歩を創り出すために～

地域プロデューサー名

小野寺 宗貴さん

対象地域

南九州市

概要

地域の方にとって存在が希薄となっている指宿枕崎線及び駅の利用を認知していただく。その後、興味、欲求、記憶、行動につなげていくことで駅周辺に活動が広がることです。

課題

課題は、地域内外の方の指宿枕崎線に対する意識の違いです。地域の方の多くは、列車を利用する機会がほとんどなく、存在価値が希薄です。一方、高校生やその両親、旅行者などは移動手段が限られてしまうため、列車は大切な存在です。多くの困らない方と少数の困る方とのギャップを埋める方法は何か、を考えました。

理想

二つの未来があります。地域の方々が指宿枕崎線や駅設備を認知し、イベントに興味を持って自分たちも参加したいという欲求が起きます。積極的に参加したことが記憶となって、イベントへの出店など主催者を支援していく側になっていく未来です。そして、その動きが駅だけでなく、周辺に広がっていく未来です。

結果

路線の存在について、鉄道マニア視点から見たものと地域の方視点で見たもののギャップがあったことです。本当に地域のためになる活動をしているかどうか、悩んだこともあります。存在が希薄になった路線や駅を再び認知していただくためにイベントを行いました。出店者の困りごとを解決できたのは嬉しかったです。



西瀬川駅  
コーヒーイベント

●コーヒー、コーヒー豆販売（五徳農園）  
●パン（カフェマリー）

first step 100人の1歩を作るために、路線や駅を認知していただくイベントを開催した



next step 様々なイベントを行い、地域の方の需要を困りながら、地域にとっての困りごとを解決し、継続していく

## 鹿児島県の魅力の発信！

地域プロデューサー名

鎌野 真美さん

対象地域

鹿児島県全域

概要

鹿児島県内外の人に向けて、私を感じる鹿児島県の魅力を発信する。  
(note・Instagram)

課題

県外の方は鹿児島のことをよく知らない人が多く、興味を持つ機会もないこと。県内の方は、県民だからこそ鹿児島県の魅力に気づいておらず、誇りを持っていないこと。それにより、鹿児島から都市部への流出は拡大していく一方で、鹿児島への流入は進んでいかないこと。

理想

鹿児島県の魅力の認知が広がること。鹿児島県に興味を持ち、観光・移住・関係人口として関わる人が増えること。鹿児島県に誇りを持つ人が増えること。「鹿児島県大好きな人がいる」という認知が増え、新たな繋がりができること。

結果

本講座の受講を機に、0から発信をスタートした。まだ発信の規模は小さいが、noteでは、全く面識のない県外の人にも読んでいただけていたり、Instagramでは、私と同様に鹿児島県の風景を投稿している発信者と相互フォローしたりできていて、新たな繋がりが生まれ始めている。



first step noteとInstagramのアカウント開設、発信の開始



next step 投稿の継続  
より効果的な発信方法の模索

## つながる情報誌 -地域活動支援事業-

地域プロデューサー名

川上 かなえさん

対象地域

鹿児島県全域



**概要** 点在する地域資源を繋ぐ「情報誌」を制作。  
拠点の想いを可視化し、「読む」から「会う」へ繋げる仕組みで、  
街に温かな居場所を創出。



**課題** 街には魅力的な拠点や活動が点在していますが、横の繋がりが乏しく、  
その熱量が住民に届ききっていない「情報の断絶」が課題のように感じた。  
デジタル化の波に取り残され、孤独を感じる人が増える中で、  
誰でも気軽に立ち寄れる「心の居場所」が、素晴らしい素材が、  
たくさんあるのに知られていないのは悲しい。



**理想** 私が目指す理想の未来は、地域全体が一つの器となり、多様な個性が調和する  
「ぷりんあらかも〜ど」のような形です。  
誰でも気軽に立ち寄れる「心の居場所（素材）」が地域を支える。  
そこでひとり一人が自立する未来を目指したい。



**結果** 年度末という地域社会も多忙な時期において、各拠点との調整を円滑に進め、  
取材・執筆・デザインを完遂させなければならなかったことは容易ではなかったが、  
足を運ぶ先々で生まれた信頼の構築が、最終的に想いの連鎖を生み、  
拠点の想いを可視化した一冊の本となった。

### ぷりんあらかも〜ど

地域を彩る個性豊かな素材を一冊に。

2026



**first step** ・想いを形に  
できたこと  
・そのため的一步  
が踏み出せたこと



**next step** この『情報誌』を  
単なる配布物で  
終わらず、  
読者と活動者が  
直接出会う場を  
デザインする

## 余暇の社会実装

地域プロデューサー名

川原 隆也さん

対象地域

鹿児島市



**概要** 余暇活動を通じて、人のつながりや自己肯定感を育み、生きづらさや孤立といった  
社会課題の予防・緩和を目指す。  
地域に根ざした余暇の仕組みを実装する。



**課題** 地域には、孤立や生きづらさを抱える人が少なくない一方で、  
気軽に参加できる余暇活動や居場所が不足している。  
特に子どもや子育て世代、障害のある人などが地域とつながる機会が限られ、  
結果として孤立や不安が深まりやすい状況がある。



**理想** 子どもから大人まで誰もが気軽に余暇活動に参加でき、  
人と人が自然につながる地域。  
孤立や生きづらさを抱える人も排除されることなく、  
自分の居場所や役割を見つけられる。  
余暇を通じて互いに支え合い、安心して暮らし続けられる地域社会。



**結果** 余暇活動は人をつなぐ力がある一方、参加するきっかけや安心して  
関わられる場がなければ人は集まりにくいことに気づいた。  
継続できる仕組みづくりや運営体制、理解者や仲間を増やしていくことの  
難しさも実感している。

### 余暇活動支援で 社会課題を解決!!

**first step** 地域で気軽に  
集える余暇活動の  
拠点づくりを  
始めた



**next step** 余暇活動の拠点と  
プログラムを  
地域に広げる

## Shochu Lovers

### 概要

鹿児島にある焼酎蔵100蔵が、これからはずっと美味しい焼酎を造り続けて欲しいという思いから、「焼酎に出逢う機会の創出」・「焼酎のファンになってもらうための施策」に取り組んでいきたい。

### 課題

地域外とつながる機会の少なさ、人手不足、外部の人を受け入れるための中間支援。ここが少しづつでも解決できていくと、地域がやりたいと思っていることができたり、地域が活気付いていくのではと感じています。

### 理想

大好きな焼酎が、地元地域・鹿児島・鹿児島以外の日本全国・全世界中でたのしく、おいしく飲まれる未来。そして、その世界中から愛される焼酎をつくる蔵人や焼酎蔵のある地域に住む人々が笑顔で焼酎をつくっている、活気のある地域。

### 結果

日々いろいろと忙しく誘惑もある（興味関心の幅が広すぎるため）日常生活の中で、自分のプロジェクトをやり続ける時間の確保や自分を奮い立たせるための心持ちを持続させることが難しい。※私の場合は営利を求めずプロジェクトではないため。

地域プロデューサー名

川股 みどりさん

対象地域

鹿児島県全域



**first step** ・自分の中でふつつと湧いていた中身の整理  
・具体的な行動（アイデア）の内容固め

**next step** インスタグラムアカウントの開設

## SNSで鹿児島を盛り上げる

### 概要

運営する「かごママ」のアカウントで、鹿児島の魅力を発信すること。子どもたちが大きくなった時に今ある素敵な鹿児島が残っていること。

### 課題

せっかく魅力ある場所やお店があるのに、その良さを伝える手段がない、もしくは、伝えても届けたい人に届いていない、そんな状況を目の当たりにして、伝え方を変えることでその魅力を届けることができるのではないかと思った。

### 理想

「発信の仕方が分からない」や「集客に困っている」お店や個人の方の悩みに寄り添い、伝えたい想いを聞き、見ている人に伝える。頑張っている人とその地域に住む人々を繋げる架け橋になりたい。住んでいる人たちが鹿児島にもこんな素敵な場所があったんだと気づきに繋がって欲しい。

### 結果

地域の課題を深掘りしていくことで私にできることは何なのか、その先の変化について考えることができた。自分に何ができるのかを見つけることが難しかったが、メンターの方やスタッフの方と壁打ちすることで考え方や方法を知り、今の形に繋げることができた。

地域プロデューサー名

坂本 智千さん

対象地域

鹿児島県全域



**first step** インスタグラムの発信を始めたこと

**next step** 想いを聞き伝えるメディアになるために、取材という形で撮影をしていくこと

## コミュニティ食堂 (子どもたちが作る子供たちの居場所作り)

地域プロデューサー名

諏訪原 実遥さん

対象地域

錦江町

### 概要

月1、2回(不定期日曜日)にゲストハウスよってを、am11:00-pm3:00の間お借りして室内又は屋外にて子どもたちがしたい事をやりながら過ごせる場所の提供、お子様への昼食は無料での提供を行なう。

### 課題

子どもたちが遊べる場所が少なく、バスの交通の便も少ない。自転車等でも行ける限界もあるし、安全面の配慮も完全では無い。頻りに保護者が付き添いで隣町まで遊びに行けるかと言うと仕事であったり中々難しいかと思うとかなり閉鎖された街に感じる。

### 理想

わざわざ遠出をしなくても、錦江町でも楽しい思い出を残せる事が出来ると言うのを子供が体感を通して感じてほしいです。子ども会議や親子参加型のイベントを開催し町内だけではなく町外の人たちも『錦江町ってたのしいイベントしてるんだ』と言うのを伝えていきたい。

### 結果

コミュニティ食堂は誰が誰のためにどう機能していくかを考えていった時に、今までは何をやるにも行政頼りだった自分に気付かされました。今後は自分が立ち上げたコミュニティ食堂にてご飯だけではなく、親子参加型のイベントやwsを徐々に増やして行けたらいいなと思いました。



first step 3月8日に  
初回開催を実施  
する



next step ボランティアであったり、一緒に活動できるメンバーを増やして出来ること(可動域)を増やしていきたい

## 野田に賑わいを!

地域プロデューサー名

辻 慎一郎さん

対象地域

出水市

### 概要

毎年秋に開催される「西日本オールドカーフェスティバル」に関連したコンテンツを開発し、野田地区への交流人口増加を促す。

### 課題

出水市野田町にて、毎年11月3日に開催される「西日本オールドカーフェスティバル」には多くの方が来場するが、その日その時その場だけの賑わいになっていて、非常にもったいないと感じている。これを、一年を通しての賑わいにし地域活性化に繋げたい。

### 理想

「西日本オールドカーフェスティバル」という歴史あるコンテンツに関連した多種多様な商品等を造成し、僅かながらでも交流人口を増加させ、野田地区に賑わいを創出したい。私がプレゼンテーションしたアイデアの他にもあたためているアイデアが複数ある。

### 結果

私は、自身を過大に見せたり表現することを極力控えている。相手より尋ねられた際に、はじめて自身のキャリアや繋がりについてこたえるようにしている。そのためか、野田地区コミュニティ協議会においても、聞く耳を持ってもらえない。



first step 野田地区コミュニティ協議会へ加入した



next step 3月に開催される「野田トーク」にて、今回作成したプレゼンテーションを参加者の前で発表する

## 霧島地区の観光のファーストペンギンになる

地域プロデューサー名

富田 淳也さん

対象地域

霧島市

### 概要

オープンカーによるレンタカー事業、民泊事業、宿泊施設にリネンのレンタル、レンタサイクル、クリーニング業を行う。

### 課題

IFOOさんが霧島神宮駅周辺を盛り上げてくれているので、そこに便乗させてもらって、地元で元々あるポテンシャルを引き出していきたい。地元の人々がもっと積極的に観光に参入して横の繋がりを作るためのファーストペンギンになる。

### 理想

IFOOさんが、もし撤退することになっても、地元の観光が引き続き観光客を呼べる環境づくりをしていきたい。地元の人々の地元の人によるみんながWinWinの環境を作っていきたい。子供たちが地元に戻って来たいと思える、自慢の故郷になってほしい。

### 結果

現在、全ての新規の事業に対しての融資がなかなか進まないことが歯がゆい。早く始めたい気持ちで今はいっぱいです。早めに補助金とか利用して計画を立てていければよかったという後悔はある。しかし霧島の観光には未来があると確信している。



first step レンタカー事業の開始は4月5日



next step ホワイト急便の代理店



## 暮らしと商いを重ねていく 暮らしのための知識継承の場を創りたい

地域プロデューサー名

二宮 愛さん

対象地域

南九州市

### 概要

土をつくり、植物・食物を育て、植物療法、保存食、様々な生きていくための知恵を共創（ワークショップ）で、同じ釜の飯を食べながら、子どもからシニアまでが共に学び、デザインのアップデートをしていく。

### 課題

人口減少で個人の役割やイベントが増え多忙を極めている。共催が相乗効果を高めるか。財源も減り確保する為、金額が上がり、人口減少の問題が。一方で自然資源は豊富で活用や共生ができておらず、農業は、農機具や肥料の値段が上がり苦しんでいる。自然破壊と資本主義に頼る暮らしがお互いを苦しめているように感じる。

### 理想

暮らしを循環させること、自然と共生し、自然の資源をいただきながら、それを循環させていけたらと思っています。その暮らし自体の知識や知恵を、共に様々な人たちと協働することで、生きていくための知識を楽しく身につけていきたいと思っています。

### 結果

喫茶は、人が来なかったり、少なかったこともあったが、小さくでも続けてやっていると、一緒にコラボしようなどと声をかけてくれる人も出て来て、少しずつだが続けることで、様々な方向に根を伸ばしていくことができました。続けることの大切さ、いつどこでどんな風に繋がるか、形を変えるかがわからないなど感じました。

暮らし観光



first step チャレンジショップで喫茶を始める  
・色々な方のコラボが少しずつ実現している



next step 自分の暮らしを整える



## 地域の人事部プラットフォームを鹿児島市に創る

地域プロデューサー名

野口 圭介さん

対象地域

鹿児島県全域

概要

鹿児島県の中小企業者の人材課題を解決する  
地域全体で人事機能をシェアする地域の人事部構想  
「非営利活動法人ワンバウンド」

課題

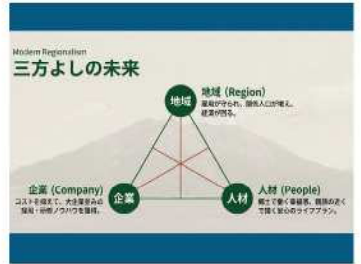
鹿児島県の中小企業のリソース不足、就活統一戦線の壁、就活生の都会へのあこがれにより、鹿児島への想いをもつ就活生が地元で就職できない結果、鹿児島県内の高校生の35%、大学生の60%が県外へ就職していること。  
また、鹿児島島の企業が鹿児島島のクリエイターを使い切れていないこと。

理想

中小企業個社では解決できない「採用・育成・定着」を地域が連携して補完・強化する、すべての就活生やクリエイターが鹿児島で何度でもチャレンジできるプラットフォームを作ることで、鹿児島を愛する人材が鹿児島で幸せな生活をおくること。

結果

職場組織と自身のモチベーションに大きな隔たりが生じていることを改めて実感。公務員体質から脱却できない職場組織に対し副業解禁への理解を得るには時間がかかると感じている。  
本プレゼン資料もとに本構想を広く展開し、関係者に対し協力を求めているが、関係者との間にも意識の差があることを実感している。



first step 本案構想が本成果発表会のプレゼン資料として完成したこと

next step 本プレゼン資料を基に社内や関係者に対する理解を求め、意識の醸成を図ること

## モノモノコウカンプロジェクト

地域プロデューサー名

原田 桃子さん

対象地域

鹿児島市

概要

家庭でいらなくなった子供服やおもちゃ、絵本などを持ってくると点数分その場にあるものを持ち帰れる物々交換の場

課題

子育て中に、気軽に繋がれる場はまだ少ない。  
支援とまではいかない、もっとフランクなつながりが生まれる場があるといいなと思っていた。  
生活の動線上にあるコミュニケーションの場はまだ少ないと考えている。

理想

モノモノコウカンプロジェクトという場を通して、関わる人が「自分だったらこの場所を活用して何ができるかな?」と前向きにワクワクしている状態が理想です。  
役割を通してみんなが居場所を感じられる場づくりがしたいです。

結果

わたしがこの活動を引き継ぎたいと思った根底の部分を思い出すことができました。  
リソース推進以上にコミュニケーションの場としてモノモノコウカンを活用したいです。  
モノだけでなく想いも集まってくる場づくりが理想だったと実感しました。



first step 再度夫と話し合っ、この春からできることを模索している状況

next step ・地域の方を巻き込む仕掛けづくり  
・テナントのガラス部分の貼り紙を一新したい

## シマ歩きができるようになる！

地域プロデューサー名

山口 征悟さん

対象地域

宇検村

### 概要

宇検村名柄集落において、かつて使われていた場所やそこにまつわる昔話などを集落住民から聞き記録するとともに、その話をもとにシマ歩き(集落案内)ができるようになる。

### 課題

人口減少、高齢化による集落に残る、独自の文化や、土地を広大に使っていた時代の話や伝承する人材の不足。  
耕作放棄地など未使用の土地の増加。これらを体験できるプログラム等がなく、立ち寄る理由がないことから、集落に外貨がほとんど落ちない。

### 理想

興味のある人にシマのことを伝える機会・手段がある。  
訪れた人をきっかけにシマの認知・魅力が伝わっていく。  
ガイドと参加者だけの関係のシマ歩きだけでなく、地域経済や住民へも好影響を与える仕組みが作り上げられる。

### 結果

やってみたい、と周囲に言い続けていたら、実際に形になったこと。  
自身の伝えたいことと、参加者が体験したいことのニーズがマッチするとは限らないこと。  
自身が紹介する内容に一番詳しくなり、自信を持てるようになること。



first step 多くの人へのヒアリングと他地区でのシマ歩きに参加



next step 修学旅行団体の来訪を機にシマ歩きの実践  
実践を通じプログラムの充実・改善を行いながら継続する

## 互いにリスペクトし合い調和する 女性のコミュニティ作り

地域プロデューサー名

Nさん

対象地域

非公開

### 概要

食べ物作りや環境活動により女性が繋がり、女性の強みとする感覚を生かした仕事作りにより女性が自立しイキイキと生きていくコミュニティ作り

### 課題

人口が減少していく中、これからは繋がりが大切だと思います。  
世代や生き方を超える。これからは開かれた地域性という繋がりを大事にした暮らしにもどる。  
それは昔の人たちが未来の人たちへという意識を大事に暮らしていたという原点に立ち戻るといふことだと思います。

### 理想

未来へ何を残していきたいのか。  
それはどのような事がおきても消えないものと思ったときに「全ては繋がっている」という意識のもと全ての人、ものとの繋がりを大切に生きていく。  
そういう調和を未来へ繋げていきたい。

### 結果

気づいた事は、やりたい事と求められている事の誤差。  
女性ならではの仕事作りへの感覚という強みを大事にすること。  
難しかった事は、やりたい事を段階的に考察して実行していく事が出来なかった。  
見えてきた事は、一歩づつ進めていく事。



first step 近しい女性たちにプロジェクトについて伝えた



next step 月一回  
コミュニティを開く

## 地域まるごとホテル ～空き家・空き店舗をまち泊へ～

地域プロデューサー名

Kさん

対象地域

非公開



宿泊の受け皿が不足している一方で、空き家・空き店舗が増えている地域において、空き家・空き店舗をコミュニティ大工の考え方を取り入れながら、宿泊施設等に改修し、分散型のホテルを構築していきます。



人口減少の中で、地方の市街地周辺においても、空き家・空き店舗が増え、地域の賑わいが年々減少しています。  
一方で、宿泊施設が不足している地域も多くあります。  
人気の居酒屋や飲食店は一定程度あるので、気軽に泊まる場所が増えれば、地域でお金が回りやすい条件の対象地は多く存在していると考えられます。



地域の皆さんが楽しみながら、1つずつ空き家・空き店舗をまちの資産に変えていき、その活動が少しずつ広がり、新しい宿やお店をやりたい人が増えて、地域が賑わっていく姿を目指したいです。  
結果的に、泊まる場所が増えることで、地域での滞在時間が増え、地域でお金が回る仕組みが作れるとなお良いです。



コミュニティの大工の取組が普及することで、空き家問題に悩んでいた多くの地域で、活用できるチャンスが広がったと思います。  
空き家・空き店舗の活用後の事業については、マネタイズも含め苦労が多いと感じたので、場所や建物の特徴に応じて、適切に活用できる力を身につけたいです。



**first step** コミュニティ大工の現場へ足を運び、空き家・空き店舗の再生やコミュニティ形成の実践知を学んだ



**next step** ・地域の方へ本プロジェクトを説明し、共感を得る  
・空き家・空き店舗の物件を選定する

## 知的好奇心を刺激し、学びを通じて人生を豊かに 「大人の習い事と交流のコミュニティ」

地域プロデューサー名

Sさん

対象地域

非公開



鹿児島市勤労青少年ホーム等での経験を活かし、学びを楽しむ場を創出します。毎回変わる講座で「いつもと違う選択」を提供し、講座後の交流も重視。学びと繋がりを通じて、人生を豊かに彩るコミュニティ創出。



身近にあるものの「本当の価値」に気づきにくく、質の高い学びや体験が過小評価されがちな現状があります。  
自分の住んでいる地域の良さを知っているようで、実はその凄さにピンと来ていないことも少なくありません。  
外からの視点に触れる機会を増やし、地元の価値を客観的に捉え直す習慣を地域に根付かせることが課題です。



LIFE+での交流を通じ、多様な価値観に触れて視野が広がる地域を目指します。県外の視点とも混ぜり合うことで地元の真価を再発見し、本物の体験にワクワクしながら、大人が主役として輝ける未来を創りたいです。



都会と鹿児島では学びへの金銭感覚に大きな差があり、価値を伝える集客の難しさを痛感しました。  
また、資金面などの現実的な壁にも直面し、一人で抱え込まず、想いを分かち合える仲間の必要性を強く実感しています。



**first step** 3月14日のイベントに向け、県外ゲストを招聘。多様な視点や想いを共有する場の創出に踏み出した



**next step** ・事業オープンを目指し、継続的な学びを地域に定着させる  
・多様なコミュニティを創り、交流を広げる

**令和7年度地域づくり人財育成事業**

**『地域プロデューサー実践講座2025』**

**主催：鹿児島県**

**運営：一般社団法人横川kito**

**<お問い合わせ>**

**鹿児島県 男女共同参画局 くらし共生協働課**

**〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1**

**TEL：099-286-2247**

**E-MAIL：k-chiiki@pref.kagoshima.lg.jp**